

市の仕事を知ってほしい

ガラス張り公開市長室の開催目的

ガラス張り公開市長室を開催する目的は3つありました。

1つ目は、市民の皆さんといっしょに市政に取り組むため、市役所にどんな課や係があり何を目標に仕事をしているかを知っていただくことです。2点目は、県下で初めての部長マニフェストの周知です。これは、目標数値を設定し、市民に対して公約をするもの。今後も精度を高めて、実施していきます。この2点については、各会場で各部長が、受け持つ課の仕事内容の紹介と、自身のマニフェストについて説明しました。

そして3点目が、皆さんからの意見や提言を市政のなかに取り入れ、政策とし

て行い実現していくことです。各地区のもつ課題や要望だけでなく、紹介したマニフェストに示す事業に対する意見や提案も多くいただきました。



配布した部長マニフェストを見ながら説明を聞く人

部長マニフェスト

ガラス張り公開市長室を終えて 意見・提言をまとめ 市政への反映

トップは「道路」

意見・提言のまとめ

意見や質問、要望は全部で233件。最も多かったのは、道路に関する18件です。以下、土木担当員の要望事業や草刈りといったことを含む産業建設全般、橋、生活交通、ごみ、子育て支援と続きます。

トップの道路では、国道や県道、市道の維持管理や信号機や歩道橋の設置、交通安全対策に関する要望が目立ちました。

産業建設全般17件のうち9件が、土木担当員が行う要望申請の簡素化と、要望事業の採択について。7件が、高齢化や過疎化によりむずかしくなった道路脇の草刈りについてでした。

3番目に多い橋は、約半分が巡回中に建設推進を決定した高梁川新架橋に関連したもので。市長は、多くの会場で建設推進に至った経緯を説明しました。

生活の足となる路線バス

といった公共交通の充実を求めるものや高齢者へのバス・タクシー券の交付といった生活交通の分野には、北部や西部を中心に14件の意見や提言がありました。

ごみの12件は、ごみの減量化やリサイクルに関する提案をはじめ、不法投棄への対応や対策、ごみ袋の値段のこともありました。

子育て支援には11件。保育所のこと6件、学童保育のこと2件、小児医療費に1件など。待機児童解消についても意見をいただきました。

部長マニフェストに掲げた項目別でも意見が多かったのは、公共交通機関の整備への14件がトップで、ごみ減量化リサイクルが3番目と、生活環境部長のマニフェストへの期待の表れともとれます。2番目は産業建設部長の土木事業の推進の11件でした。



意見交換が生んだ「身近再生」

意見・提言の市政への反映

ガラス張り公開市長室でいただいた意見や提言のうち、3月末までに市政に反映することのできた主なものを紹介します。

多くの会場で、普段の生活に直結した課題についての発言がありました。緊急経済対策の2月補正予算と平成21年度予算は「身近再生」をテーマに、こうした身近な課題を解決する予算として編成しました。

北部や西部の地区で多かった道路脇の草刈りについては、道路維持経費のなかで対応。同様に生活の足となる公共交通の確保では、4月から、昭和と阿曾地区を走るコミュニティバスの運行と、高齢者に交付する



バス・タクシー券。4月から交付する対象が拡充された



2月12日、人材育成の一環として、JFEスチール株式会社西日本製鉄所の守安進副所長を市役所に迎え、意識改革研修を実施。市長をはじめ、幹部職員ら約80人が参加。守安さんは、「民間企業から学ぶ」と題し、「改善ではなく、改革する実践力」が必要なことや、努力することが大切だと話した

に予算を配分しました。

いくつかの会場で、土木担当員から指摘された事業の要望方法の簡素化については、やり方を見直し今年度の要望分から実施しました。市道、農道、橋などの維持補修の要望に対応し、地域のまちづくりの応援を担当する「地域応援課」の新

設も、ガラス張り公開市長室での意見交換から生まれたものです。

ゆうちょ銀行での市税納付の提案も、4月から実施になったほか、悪臭のする水路の改修に着手、職員の教育に対する意見には、外部の有識者を招き研修を実施しました。

部長マニフェストの検証

会場でも指摘をいただいた部長マニフェストの結果とそれに対する評価、評価を基にした次の行動については、平成20年度の検証と評価を行なった後、6月を目前に現在のマニフェストを継承・発展した平成21年度版を作成し、発表します。



ガラス張り公開市長室を実施した20会場でいただいた意見の詳細は、市のホームページで公開します。

問い合わせ 秘書室

(☎)08215)